

今月の

# 5冊



**がんユニバーシティ**  
まるごと人間としての患者と、医者と、私

市原真＝編  
発行：医学書院  
定価：3960円（本体3600円＋税10％）

病理医である市原真氏が、第一線の医師、研究者、当事者ら17名との対話を通じ、がんに向き合うことの本質を探索する。診断・治療の現場から創薬研究、心理的ケア、当事者の経験まで、多彩な視点が交錯し、がんの真実を立体的に描き出す。医学・医療の枠を超えて人間そのものを深く学ぶ全17講義。がんに関わる全ての人に贈る、希望のカリキュラム。

## 介護職スキルアップブック 手早く学べてしっかり身につく！ 認知症ケア

斐鎬洙＝著  
発行：秀和システム新社  
定価：1980円（本体1800円＋税10％）



認知症ケアは多くの介護職を悩ませるテーマの1つであり、最適な対応方法が分からずに困った経験をもつ介護職も少なくない。本書は著者が考案した「理由を探る認知症ケア」をベースに、介護の現場で起きがちな事柄への対応例を、場面別に分かりやすく解説。62項目の豊富な事例で認知症ケアの理解が深まるスキルアップブック。

## はじめよう！むくみケア

西田壽代、渡辺直子＝編著  
発行：日本看護協会出版会  
定価：4400円（本体4000円＋税10％）



臨床で出会うむくみは、マッサージで改善するものから、緊急治療が必要なものまでさまざまな状態があり、どのようなケアをすべきか分からないこともある。本書は「むくみのアセスメント」「むくみの分類・検査・治療」「具体的なケアの方法」「周辺知識」など、むくみに関する知識と技術を網羅的に解説する。正しい理解からむくみの改善につなげる。

## ケアを学ぶ人のために

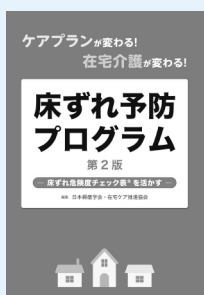
西村ユミ、熊谷晋一郎＝編  
発行：世界思想社  
定価：2750円（本体2500円＋税10％）



育児や介護から医療や福祉まで、少子高齢化を背景に広がるケアの議論。非対称な関係の中で信頼を構築する方法とは？誰もが責任を担い誰もが依存できる社会とは？本書はケアとして何がどのように議論されているのか、ケアが社会的課題といかに関連しているのかを分かりやすく紹介。現場のリアルを整理している。

## ケアプランが変わる！在宅介護が変わる！ 床ずれ予防プログラム 第2版 床ずれ危険度チェック表®を活かす

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会＝編  
発行：春恒社  
定価：1100円（本体1000円＋税10％）



ケアマネジャーに向けて開発されたリスクアセスメントスケール「床ずれ危険度チェック表®」をケアプランに活かすための一冊。8つの床ずれ発生リスクを学びながら、チェックリストを進めていくことで、問題解決やその先の多職種連携につなげ、在宅介護の質向上を目指す。ケアマネジャーをはじめ、在宅介護に関わる全ての職種に。